

2025年3月19日 卒業式来賓挨拶

本日は、日本を含め7か国（インドネシア、英国、ネパール、ベトナム、台湾、韓国、中国）からの学生が卒業します。卒業される学生のみなさんには、敬意とお祝いをおつたえしたいと思います。

また本日会場でご参列のご家族など卒業生をご支援いただいたみなさんにも、同じ気持ちをお伝えしたいと思います。

今日卒業する多くの方は、2021年4月に入学されました。本学の事情を振り返れば、大学の経営の再建がスタートしたばかりの時期でした。みなさんが入学された前後の本学の事情を鑑みれば、みなさんは、入学前も入学後も大きな心配と不安、困難に直面されたと思います。

入学されたときの大阪観光大学を設置する法人・「学校法人明浄学院」は、2022年4月学校法人大阪観光大学として名称を変更し再建されました。この再建の力となったのは、みなさんが本学での学びを求めて入学され、意欲的な学びを継続してくれたからです。みなさんの大学での学びのはじまりは、世界的なコロナパンデミックにありました。入学後すぐに授業は、オンライン授業となりました。大学としては、1年生クラスに担当教員のほか事務職員による副担任を配置、みなさんの大学での学び、生活のスタートを支援する仕組みをつくりました。こうした孤立と不安のなかでの大学生活のスタートを乗り越えることができたのは、みなさん自身の努力とともに、見守っていただいたご家族の応援、そして困難、不安にもかかわらず本学での職務を続けていただいた教職員、それを経営的地域的に支援していただいた本日来賓の方々などのおかげであります。

このように困難のなかに入學されたみなさんを、今日送り出すことができることを理事長として大きな喜びを感じるとともに、さきにあげたみなさんに重ねて感謝を申し上げたいと思います。

さて少し私たちの歴史の先をみてみたいと思います。人生100年時代といわれていることはご存じでしょう。いま2025年。75年後2100年、次の世紀を迎えます。今日卒業されたみなさんのほとんどが、2100年の社会を見ることになるでしょう。日本だけを見ると、2100年、人口はおそらく5000万を下回ることになります。私は日本の人口が8000万の時代に生まれ、1億2000万と拡大する時代を生きてきたのですが、みなさんは1億2000万が5000万以下となる2100年に向けての時代を生き、2100年という社会を経験するのです。いま私は日本の人口事情を話しましたが、多くアジアの地域の同じ事情でもあります。いまアジア、世界の諸地域は、生き残りの競争、さらには戦争のなかにあります。私の理解で言えば、競争で

はなく、ましては戦争によってではなく、多様な人々の共生によって地球環境をまもり、共生の社会のシステムを作り上げていく必要があると思います。

みなさんは、この4年間、10数の国・地域から構成される多文化のコミュニティのなかで学び、交遊を重ね卒業されます。本学卒業生には、観光産業、地域振興の担い手として新たな次元の、そしてアジア全域での期待と希望があるように思われますが、さらには2100年におけるアジア、世界の共生の時代の創造のために活躍されることを期待しています。

最後に、学びは大学卒業とともに終わりではありません。社会での仕事、活動の中で、また新たな学びの必要を感じることもあると思います。その際には、学び直したために本学に戻ってきてください。お待ちしております。

以上お祝いのことばといたします。

2025年3月19日
学校法人大阪観光大学理事長
山本健慈